

寄宿舎だより

北海道白樺高等養護学校校長

山 本 貴 路

令和6年度3月24日 No. 3

「 一つ屋根の下 」

北海道白樺高等養護学校校長 山 本 貴 路

今年も、ほぼ毎朝、皆さんの元気な挨拶と明るい笑顔に迎えられました。ありがとうございました。また、いつも元気な皆さんも、疲れている様子だったり、眠たそうにしていたり、不安げだったり、いつもとは違う様子を感じることもできました。

1年前に入舎した1年生も、日を追う毎に不安や緊張が払拭され、2、3年生とも打ち解け生活している様子に安心していました。

先日の寄宿舎の送別会で、1、2年生から3年生へ向けた言葉にも、3年生が1、2年生に向けた言葉にも、たくさんの「ありがとう」という言葉が使われていました。家族以外の人と寝食を共にし、一つ屋根の下で共同生活をした3年間は、経験した人ではないとわからない、かけがえのない時間になったことと思います。「〇〇さん、一緒に〇〇してくれてありがとう!!」「〇〇さんと居て、楽しかったありがとう!!」など、心からの感謝が伝わりました。改めて「ありがとう」って、素敵な言葉だと感じました。

3年生の皆さん、寄宿舎で生活した経験は、職場でも生活の場でも、必ず役に立ちます。これからも、つらいこと、不満に思うこともたくさんあるかもしれませんが、それを乗り切る方法を学んだはずですので、自信をもって成長し続けてください。

1、2年生の皆さん、今度は皆さんが先輩と呼ばれます。3年生が優しく教えてくれたように、新しく入舎する人たちにも同じように伝えてください。そして、今年以上に楽しい寄宿舎になるようにみんなで考えてください。

保護者の皆様、今年一年、送迎や寄宿舎生活に関わり、御理解と御協力をいただき誠にありがとうございました。生徒たちは、週末に御家族に会えること、自宅に帰れることを楽しみに集団生活を精一杯送っております。今後も、安心・安全な生活を送ることを第一に考え、生徒主体にマナーやモラルが守られ、自分の良さを生かし、自分らしさを発揮できる魅力あふれる寄宿舎となりますよう取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

送別会

2月13日(木)に寄宿舍送別会が行われました。文化係で構成された1、2年生の実行委員は3年生のために、着々と準備を進めてきました。かわいらしい桜の装飾いっぱいの中、会が始まりました。第1部は食堂で食事会です。ソーセージピラフ、鶏肉のから揚げ、春らしい花シューマイ、野菜のキッシュ、バレンタインに近いこともありコンソメスープの中にはハート型の人参も入っていました。デザートにはカップアイスやチョコ菓子も付いて、どこのテーブルもみんな笑顔でした。



今年度は、第2部のお別れセレモニーも食堂で行いました。歌あり、コントあり、応援メッセージありの1、2年生の思いは、しっかりと3年生に伝わったと思います。3年生からは、一人ひとり自分の思いを発表してもらいました。様々なことを学んで成長したことが感じられました。発表していくうちに思いがあふれ泣き出す3年生、それを聞いてもらい泣きする1、2年生。生徒間の絆の強さも感じられ、特別な会となりました。3年生代表の挨拶では、横山翔太さん、梅田あかりさんから感謝の気持ちは後輩への思いが話され、最後はみんなで花道を作り、実行委員が作った桜吹雪の中、3年生が退場していきました。思い出に残る温かい送別会になったと思います。



男子棟の様子

冬休みが終わり、3学期が始まると「卒業まであと何日」と誰か彼かが話をしている声が聞こえ、3年生の登校日は、残りひと月と数日の状況でしたが寂しい気持ちを胸に秘めながらもいつものように寄宿舎の生活を謳歌していました。

2月に入るとそれぞれの部屋で3年生との最後の部屋会が行われます。テイクアウトやファストフード、ピザを食べるなど、楽しそうに過ごしていました。

自由時間には談笑しているだけではなく、ゲームをしたり、DVD を持ってきて映画鑑賞をしていたりとそれぞれの楽しみ方を見つけて生活しています。

このような寄宿舎の生活を通して楽しい思い出として残ったり、卒業後の生活での過ごし方につながったりしてくれるといいなと考えています。



女子棟の様子

2月27日に女子棟のお別れ会がありました。

卒業生にプレゼントを贈るため、事前に1、2年生でフォトフレームの飾り付けを3年生に気付かれないよう行いました。こっそり行動する1、2年生は大変でしたがきれいに丁寧に行っていました。

お別れ会では、ダンスパーティをし、ダンスの後はケーキを食べ、3年生から寄宿舎の思い出や後輩に向けたメッセージを話してもらいました。準備していたプレゼントも喜んでくれました。3年生から先生方へのメッセージを書いた色紙のプレゼントが贈られ、終始楽しい会となりました。

卒業式が近づくにつれ、棟内でも「寂しい～！あと〇日しかない！」など、卒業してほしくない後輩達の声が聞こえていました。一緒にいた時間が長いほど思い入れが強く、限りある時間を痛感しているようです。3年生がいなくなった後は少し寂しいですが、次は新1年生が入舎してきます。自分たちの進級を意識している様子も見られ、新1年生を迎えるための準備を進めています。新年度、新しいメンバーで女子棟を盛り上げていきたいと思っています。



離任者の挨拶

荒木 恵一先生（南幌養護学校へ）



おかげさまで無事に白樺を卒業することになりました。この 14 年間支えてくださった多くの皆様に感謝申し上げます。本当にどうもありがとうございました。寄宿舎指導員は宿直勤務があります。私はこの 14 年間で 521 回宿直勤務をしてきました。生徒は3年間で休まず来ると 600 回近い数字になります。14 年間も在籍しているのに、生徒換算すると卒業に至っていないことになります。改めて寄宿舎生に敬意を表します。大変なこともあるかと思いますが、私は寄宿舎生を応援しています。私も一から頑張りたいと思います。

伊藤 久代先生（岩見沢高等養護学校へ）



白樺高等養護学校寄宿舎に赴任してきたのが 11 年前、最初は生徒数の多さに圧倒され戸惑いながら勤務を始めたことを思い出します。大きな地震があり、停電の暗闇の中ランタンの灯りで過ごした 1 日や、コロナ禍で制限がある中での生活など、いろいろな出来事がありましたが、生徒と一緒に寄宿舎で過ごしながら多くの楽しい経験や思い出を作ることができました。とても感謝しています。

保護者の皆様には、御理解と御協力をいただき、心より感謝申し上げます。11 年間お世話になりました。ありがとうございました。

松山 望千子先生（夕張高等養護学校へ）



白樺高等養護学校に赴任して 12 年がたち、その間にたくさんの生徒たちと過ごしてきました。一人一人の笑顔が思い出されます。

卒業して社会に巣立っていく生徒達の貴重な 3 年間で、白樺の寄宿舎と一緒に過ごすことができたこと、大変嬉しく思います。これからも寄宿舎の生活の中でたくさん笑い、たくさん学んでいってください。

保護者の皆様には、たくさんの御理解、御協力をいただき心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

【 お願いと御連絡 】

<医薬品についてのお願い>

個人で用意していただくようお願いしています。必要に応じてお持ちください。

絆創膏・湿布・ホワイトテープ・包帯・綿棒・使い捨て手袋など

<雑巾寄贈のお願い>

日頃より、御協力を頂きありがとうございます。1年を通して生徒は寄宿舎の清掃、美化に努めてきました。新年度を迎えるに当たり、各舎室や掃除区域で新しい雑巾の入替えを予定しています。引き続き、雑巾の寄贈をお願いいたします。

白物・色柄物どちらも不足しています。化学繊維よりも綿素材の物を使用しています。よろしくお願いします

<『寄宿舎の生活』について>

保護者の皆様、今年も寄宿舎の教育にご協力いただきありがとうございます。

寄宿舎では年度当初の保護者懇談の際に今年の目標についてお話しした通り、一年間取り組んできました。今年度の成長の様子について「寄宿舎の生活」にまとめて舎室担任からお渡ししています。

最後に<今後に向けて>と言う項目がありますが、継続して入舎する方は、新年度の保護者懇談の際に新室担任と目標として確認していこうと考えていますので、御家庭で御確認ください。

【 令和7年度 4月の行事予定 】

- 4月 7日(月) 帰舎日(13:15 まで)
2・3年生保護者懇談会(13:30～)
舎室発表、舎室移動、個別懇談
- 4月 8日(火) 着任式・始業式(15:20 下校)
- 4月 9日(水) 入学式
2・3年下校(15:20)
1年生下校(11:45)
1年生保護者懇談会(12:30～)
新入舎生オリエンテーション
単独帰省・携帯電話オリエンテーション
- 4月 10日(木) 避難訓練(並び方)
- 4月 24日(木) 寄宿舎歓迎会(17:20～)

*帰省日 4月11日、18日、26日

今年度も『寄宿舎だより』第1～3号まで、お読みいただきありがとうございました。

来年度も寄宿舎の生活で元気に活動する生徒達の様子をお伝えしますので、引き続き御傾読いただければ幸いです。また寄宿舎の生活の様子については、HP にも掲載しています。よろしくお願いいたします。